

(様式2)新規評価シート

建設部 道路建設課

事業名	県単道路改築事業		路河川名等	(-)白石千曲線		
事業毎の通番	15	市町村名	千曲市	箇所名(ふりがな)	倉科原(くらしなはら)	
事業目的	・本路線は、倉科原地区から千曲市街地へのアクセス道路であり、地元住民の生活道路として位置付けられている。また、東小学校の通学路及びバス路線としても指定されている。 ・当該箇所は幅員狭小で車両のすれ違いに困難を極めている状況となっている。 ・本事業は、道路拡幅工で1.5車線を確保し、走行の安全を図るとともに、視距改良を行い、交通の安全性を確保するものである。					
しあわせ信州創造プラン2.0における位置付け	3-8生活を支える地域交通の確保(生活の基盤となる道路網の整備)		事業実施の根拠法令等	道路法		
関連する事業、計画等	なし					
保全対象・範囲 受益対象・範囲	計画交通量:3,115台/日					
着手年度	平成30年度	事業期間	5年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)	
完成年度(見込み)	平成34年度	費用対効果	2.9	国庫	その他 県債 一般財源	
全体事業内容(主な工種)	道路拡幅工 L=250m、W=4.0(5.0)m		100,000	90,000	10,000	
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	バス路線の整備 走行時間・経費等の減少				
	間接的効果(定量的・定性的)	観光支援による地域活性化 地域間交流の促進				
評価の視点	必要性	○計画交通量：3,115台/日 ○代替道路の有無：代替道路があるが、安全性が低い ○医療・福祉・教育施設との連携：特別養護老人ホーム(杏寿荘)への1次アクセス、東小学校への2次アクセス ○交通結節点アクセス：千曲市バス路線(デマンド型乗合タクシー 東部線) ○観光振興・地域の活性化：観光地「あんずの里」の活性化に資する			評価	A
	重要性	○関連計画、重点施策との整合：なし ○緊急輸送道路の路線指定：避難経路 ○地域指定：信州観光圏(千曲市)			評価	B
	効率性	○費用便益比(B/C)：2.92 ○事業期間：5年間 ○工法等の比較検討：工法比較によりコスト縮減について検討予定 ○他事業との連携：なし			評価	B
	緊急性	○近年の交通事故件数：1件 人×自動車(H24) ○道路環境改善：視距確保による安全向上、局部的な渋滞緩和 ○歩道整備：なし ○現況の車道幅員、半径、勾配：車道幅員3.0m			評価	B
	計画熟度	○事業情報の共有：H29.7 地元役員を中心に周知。立会を実施。 ○地域の取り組み：H29.10 協力的である(地域づくり懇談会で市から強い要望あり) ○地域の合意形成：H29.7 事業目的について合意形成が図られている ○住民との協働：沿道の美化活動等を行っている(維持管理に住民参加が見込まれる)			評価	B
		採択状況				
部局意見	事業の必要性が高いため、平成30年度から事業化したい。			採択状況	総合評価	B
技術管理室意見	部局の意見を適当と認める。			○		

### 位置図

### 交通状況

道路横断面の構成  
5.0m  
4.0m  
(現況 W=3.0~4.0m)

### 平面図

全体計画 L=250m W=4.0(5.0)m

### 事業概要説明図表

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	・(-)白石千曲線は、地域の生活道路やバス路線として利用する重要な路線であるが、現況は幅員が狭く歩道も未整備のため危険な状況となっている。安全で円滑な交通の確保と歩行者の危険解消が望まれ、地域から早期道路整備が強く求められている。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	・H28.8 地元地区から要望あり。 ・H29.10 千曲市地域づくり懇談会で要望にあり。
③事業説明等の経緯	・H29.7 地元役員説明、立会により、意向確認調査を実施。 ・計画案を作成後、地元説明会予定。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	なし
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	・ボトルネック部の解消により、騒音・排気ガスの削減を図る。
⑥地域活性化への影響と配慮	快適な道路環境の整備により、安全安心なバスの運行・利用や、千曲市街地へのアクセス及び「あんずの里」等の観光拠点を結ぶ交通ネットワークが構築され、地域間の交流と活力あるまちづくりへの支援効果が期待される。
⑦その他	

### 事業周辺環境

事業代表地点の緯度経度	北緯:N 36° 31' 50" 東経:E 138° 10' 35"
-------------	---------------------------------------